1 ～あっての　　　有了……才有……

両親あっての私です。両親がいなければ今日の私はいない。

彼女が退学したのはきっとないか訳があってのことだろう。

２　～（を）あてにする　　指望……、依靠……、相信……

名詞＋（を）あてにする

初めから他人の助けを当てにするような人間は，決して成功しません。

あんな奴があなたに金を貸してくれると当てにするな。

３　強ち～ない　　不一定，并非完全是那样

強ち＋ない形 +ない　　　あながち ～　ない

あの人は頼りにならない男だが，強ち無能というわけではない。

その件は難しいが，強ち不可能ではない。

４　～以外の何もではない　　就是……（表示强烈的肯定）

私によって，子育ては愉快以外の何者でもない。

１週間ぶりの学校だから，だるい以外の何者でもない。

５　～までして/～てまで　　甚至于到……地步

表示为了做出某事而做出前面的极端的事情。表达责备不择手段或者是感叹为达目的做出了极端刻苦的努力。

貯金も無いし，借金してまで車を買いたくない。

体を壊すようなことまでして，ダイエットする女性は少なくない。

６　～までだ/～までのことだ

（１）只好……

もし彼がうんと言わなかったら，ほかの人に頼むまでのことだ。

地下鉄が動かないのなら仕方がない。歩いて帰るまでだ。

（２）只是、只不过

聞かれたから，本当のことを言ったまでだ。怒るのはおかしい。

事故に遭って助かったのは，またまた運が良かったまでだ。

７　～まま/～ままに　保持……状态、就这样

ウェイターに勧められるままに，高いワインを注文してしまった。

彼は部長に命令されるままに，夜１時まで残業していた。

故郷の山も川も昔のままになっている。

８　～いかんだ/～いかんで（は）/～いかんによって（は）　根据

名詞　＋　いかんだ

成績が伸びるかどうかは，本人の今後の努力いかんだ。

原則として禁止だが，理由の如何によっては，特別に例外を認めることもある。

９　～いかんに関わらず　/　～如何によらず　/　～いかんを問わず

不管……都……

名詞　＋　（の）　＋　いかんにかかわらず

入場券を紛失された場合は，理由の如何に関わらず入場をお断りします。

我社では，年齢・性別・学歴のいかんを問わず，優秀な人材を採用する方針です。

１０　一概に～ない　　不能一概地……

一概に漫画が悪いと言うことができない。中には素晴らしいものもある。

一概に言えないが、大体中学生ぐらいの年頃は，女の子の成長が早い。

１１　今でこそ　现在虽然是

彼は今でこそ売れっ子の漫画家だが，以前は売れない画家だった。

今でこそ日本人というまく交流できるが，日本語を勉強し始めた頃は全然ダメだった。

１２　言わずもがな

（１）不说为好、不说为妙，没必要说

言わずもがな　＋　の　＋　名詞

言わずもがな　＋　だ

彼女はいつも言わずもがなのことを言う。

彼女に言わずもがなのことを言ってしまって嫌われた。

…….俺の残酷な記憶だって！

（２）当然、别说是……、都知道就没必要说 もちろん

そんな簡単なことは大人は言わずもがな，子供さえ知っている。

彼は英語は言わずもがな，スペイン語も流暢に話すことができる。

１３　～（よ）うが　/ ～（よ）うと　/ ～（よ）うとも　不管…、即使…

私が何時に家に帰ろうとも，あなたには関係ないことでしょう。

報酬が多かろと少なかろうと，私はやるべきことをやるだけだ。

１４　～（よ）うが～まいが/～（よ）うと～まいと　不管……还是……

あの教授は学生が分かろうがわかるまいが構わず授業を進めていく。

人が認めてくれようとくれまいと，私は自分の作品を作るだけだ。

１５　～（よ）うにも～ない　即便想要…都…不了

彼女の電話番号を知らないから，電話を掛けようにもかけられない。

母は日本語ができないので，僕の日本人のガールフレンドと話そうにも話せない。

１６　～覚えはない

（１）不曾…、没有……资格

动词的被动形式 + 覚えはない

最近，無言電話がよくある。人に恨まれる覚えはないんだけどなあ。

子供から「あんたに怠け者だと非難される覚えはない」と言われたことがある。

（２）我不记得……

动词た形+覚えはない

私は確かにそんな植物を植えた覚えはない。

あんたに「助けて欲しい」なんて言った覚えはない。

１７　～思いをする　/　～思いだ　　感觉……,感到……

日本での一人暮らし，最初はとても心細い思いをした。

こんなに嫌な思いをするくらいなら，あの男と離婚したほうがました。

１８　～甲斐がある/～甲斐がない/～甲斐もなく　有（无）效果、回报

一生懸命勉強した甲斐があって，彼は東京大学に合格した。

みんなの手厚い看護の甲斐もなく，彼は息を引き取った。

苦労の甲斐があって。やっと日本語で論文が書けるようになった。

１９　～限りだ　　非常……、很……、极其……

彼は，頭もいいし，性格もいいし，しかもお金持ち。本当に羨ましい限りだ。

半年も準備をしたのに中止だなんて。残念な限りだ。

念願の日本留学が決まって。嬉しさの限りだ。

２０　～が最後　/　～たら最後　　一旦……就非得……、一旦……就必定……

あの会社の社長は，約束の時間に遅れたが最後。二度と会ってくれないだろう。

どんな秘密も，彼女に話したが最後，会社中に広がってしまう。

２１　～かたがた　顺便……、兼……、同时……

引越しのご挨拶かたがた，私たち家族の近況をご報告します。

お世話になったお礼かたがた，お土産を持って恩師のお宅を訪ねた。

２２　～かたわら

（１）在……旁边。

接在动作性名词或动词之后，多用于情景描写。一般见于故事等书面性言语。

お母さんが洗濯をする傍らで，子供たちが水遊びをしている。

本を読んでいる花子さんの傍らで，１匹の猫が眠っていた。

（２）同时……、一边……一边……

同一时期内、同一职位时做多件事情而不是同一时刻

彼は大学で日本語を勉強する傍ら，高校で美術を教えている。

彼女はデパートに勤める傍ら，夜は茶道や生け花の教室に通った。

２３　～がてら　顺便……、借……之便

散歩がてら，古本屋に寄って。本を数冊買ってきた。

新しく購入した機械をテストがてら，使ってみた。処理が速くてなかなか良い。

２４　～が早いか　刚……就……

息子は朝ご飯を食べ終わるが早いか，かばんを持って駆け出していった。

彼は答えを書き終わったが早いか，問題紙を提出して教室から飛び出していった。

２５　～から～を守る/～を～から守る　　保卫……免受……

放射能汚染から子供たちを守る対策を講じなければならない。

俺はどうしても彼女を悪党の手から守りたい。

２６　～からある/～からの　　……之多，竟有

彼は６０キロからあるバーベルを軽々と持ち上げた。

釣り好きの父は体長が１メートルからある魚を釣って，とても自慢している。

２７　～からいいようなものの/～からよかったものの　因为……幸好没……

火を消したから良かったものの，一つ間違えば大変なことになるところだった。

運転手が教えてくれたから良かったものの，も少しで大切な卒業論文をタクシーの中に忘れるところだった。